

平成27年9月教育委員会定例会 会議録

平成27年(2015)9月24日(木)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
文 化 財 課 長	佐 藤 隆 夫
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者 2 名

開会

(成相委員長) 只今から、平成27年9月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 会議録の承認

(成相委員長) それでは会議録の承認に入ります。8月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(成相委員長) 特に意見等ありませんので、8月定例会の会議録については承認といたします。

2. 教育長行政報告

(成相委員長) 次に、行政報告について、槇野教育長に報告願います。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

H27.8.27 総合教育会議

H27.8.31 市議会初日 ～9.29

H27.9.1 市防災訓練

H27.9.3 市議会一般質問 ～9.7

H27.9.8 少年の主張出雲市大会

H27.9.10 市議会文教厚生常任委員会

H27.9.11 校長の会議

H27.9.14 コミュニティセンター運営協議会

H27.9.15 市議会予算特別委員会

H27.9.17 市議会決算特別委員会 ～9.25

H27.9.24 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

H27.9.28 田儀小、岐久小再編統合推進委員会

H27.10.7 いじめ問題対策委員会

H27.10.12 出雲駅伝

H27.10.14 学校訪問 ～10.15

H27.10.20 保幼小交流の日

H27.10.20 学校訪問
H27.10.21 学校訪問
H27.10.21 管内学力育成会議
H27.10.22 中国地区都市教育長会 ～10.23
H27.10.26 出雲科学館運営理事会
H27.10.27 定例教育委員の会議

(3) 9月定例市議会

(1) 一般質問

○珍部全吾議員 **出雲における戦中、戦後の歴史教育について**

戦中、戦後の歴史教育についての教育長の所感

靖国神社、大陸進出、日米開戦、終戦について、戦後日本の独立について

○川上幸博議員 **学力調査について**

①毎年度、結果の分析、課題の改善が図られているが、今年度の結果を見られ昨年までの改善策がどの程度成果として表れているのか伺う。

②調査結果上位県との基本的な差異は何があると考えているのか伺う。また、その差異の解消の為、改善策を立て、実行することが必要と考えるが教育委員会としての見解を伺う。

③各種の体験活動が学びの基礎になると考えるが、体験活動を重視し、目的意識を生徒児童に持たせることが学力向上策の一つになると考えるが委員会の所見を伺う。

○板倉一郎議員 **子どもの快適な教育環境について**

(1)教育環境の整備についての基本的な考え方を伺う。

(2)幼稚園、小学校、中学校のエアコン整備について伺う。

①現在の設置状況

②今後の設置計画

③小中学校の普通教室を早期に実施すべきと考える、その考えについて伺う。

④幼稚園の預かり保育室の設置について伺う。

⑤災害時の避難場所としての視点でも必要と考えるが、その点について伺う。

(3)幼稚園、小学校、中学校のトイレの洋式化について伺う。

①現在の設置状況

②今後の設置計画

③一部でも早期に実施すべきと考える、その考えについて伺う。

④災害時の避難場所としての視点でも必要と考えるが、その点について伺う。

○大谷良治議員 **平田小学校屋内運動場について**

建設に向けた対応について

進捗状況と今後のスケジュール

○岸 道三議員 **公立学校施設におけるエアコンの整備について**

①出雲市の公立学校におけるエアコンの設置率（保育所・幼稚園・小学校・中学校）

②「第1回出雲市総合教育会議」での主な意見

③普通教室へのエアコン設置における計画策定の考え

○大場利信議員 **日本語指導が必要な児童・生徒に対する日本語教育の実施について**

本市における外国籍の児童・生徒の数は年々増加の一途をたどっているが、外国籍の児童・生徒の「日本語教育」について、以下伺う。

- ①外国籍の児童・生徒について、住民登録されている学齢期（6歳～15歳）、学齢期前、学齢期後20歳までのそれぞれの最新の人数
- ②学齢期の児童・生徒のうち不就学者の数
- ③小学校および中学校への就学者の日本語による日常会話のレベル
- ④県への重点要望に「就学前、編入学前の日本語指導など、課題解決のための施策を検討し、実施すること」とあるが、その趣旨と内容
- ⑤本市において学齢期前あるいは編入学前の児童・生徒がより早く日本語や学校に慣れるため、NPOやボランティアによりプレスクールを実施しようとする動きがあるがこれについての所見
- ⑥併せて、本市の日本語指導教員の増員に向け引き続き頑張っていただきたい。

○寺本淳一議員 **出雲市学校施設整備・耐震化事業について**

現在、市では耐震化中期計画による事業が進められています。しかし、国庫補助率嵩上げ措置が本年度で終了する予定となっています。そこで伺います。

- ①本年度終了時点で、中期計画と比較しての進捗率
- ②市全体の公立学校の耐震化率は
- ③島根県内では出雲市と益田市が、耐震化率が全国平均未満であり、文部科学大臣から「できるだけ早期に公立学校施設の耐震化が完了することを目標に、今年度に事業の前倒しを行うなど、一層積極的に取り組んでいただくよう、改めて強くお願いします。」と書簡を发出されていますが、これに対して計画の見直しはされるのか。

○小村吉一議員 **公共施設の使用料の見直しを問う
～コミセン・学校施設を中心に～**

- ①公共施設の使用料の見直しについては、「市民に十分周知徹底する」とのことであったが、今も周知徹底は十分と思えず、疑問、不満、反対の声などを聞くが、この間にどのような周知徹底を行ったのか伺います。（コミセン・学校施設を中心にその間に聴いた市民の声など）
- ②直近の年度で、同じように使用すれば今度から有料となる使用例が市全体でおよそ何件位あり、それは全体の何%位になりますか。（コミセンと学校を区別して）
- ③コミセン、学校施設を有料化すると単年度にいくら収益があると想定されているのか伺います。（コミセンと学校を区別して）
- ④コミセン、学校へは、市民は財政的な支援も行っています。その総額は、単年度でいくらなのか伺います。
- ⑤コミセン・学校の有料化は、施設の本来の目的や市民の活動の活性化、手続

きの煩雑さなど費用対効果などを考える時、市民が使用する場合については、従来どおり無料とすべきと考えますがどうですか。

○湯浅啓史議員

1 「ふるさと教育」および「キャリア教育」の考え方と実績について

(1) キャリア教育について

- ① その意味と具体的な取り組み
- ② アントレプレナーシップ（起業家精神）教育との違い
- ③ どのように計画され、いかに評価されるものか

(2) 現在小中学校で進められている「ふるさと教育」および「キャリア教育」について

- ① 本年度「ふるさとへの夢・活力創生事業」として実施する目的と期待される効果
- ② 具体的な取り組み方法と実績
- ③ まち・ひと・しごと総合戦略の中でどう位置づけられるのか

2 出雲科学館の活用について

出雲科学館の有効活用について

- ① 出雲科学館の利用実績
学校教育利用および一般利用
- ② 産業科学技術の学習・啓発事業および科学技術知識の普及啓発事業の実績
- ③ 夜間利用に対する要望

○勝部順子議員 **いじめ防止の取り組みについて**

一昨年9月に、「いじめ防止対策推進法」が施行され、各自治体で基本方針の作成や組織の設置など対策が進められています。各学校においては、日頃からの地道な未然防止の取り組みが重要です。8月3日松江市教育委員会は、市立小学校の保護者からの申し立てがあつたいじめ事案について、いじめ防止対策推進法に基づく「重大事態」に該当すると認定されました。「いじめ防止対策推進法」に基づく「重大事態」は、出雲市で2014年度に1件、県内で初認定されています。

(1) 出雲市教育委員会は2015年4月、市内小中学校に児童生徒が相談しやすい体制づくりを求める通知が出されています。

- ① 相談しやすい体制とは
- ② 通知を受けた、小中学校の現状について

(2) 教育委員会は、「1年半にわたるいじめに学校側が気付かなかったのが問題」と説明されています。

- ① 問題点は何なのか
- ② 今後の方針について

(2) 文教厚生委員会

- ① 学校再編の状況について
- ② 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

③学校給食センター第二次再編整備検討委員会の設置について

(成相委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

3. 議事

(成相委員長) それでは、議事にはいります。最初に「議第29号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第29号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第29号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第29号については承認します。

(成相委員長) 次に、「議第30号 出雲市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第30号について、何か質疑等はありませんか。

(下手委員) コミュニティセンターが有料になるということで、基準的なことで混乱が見られたようですが、学校もコミュニティセンターと同じような基準ですか。

(赤木次長) 全く同じではないですが、基本的には官公庁は無料、それから学校関係者、地域の自治会、自治協会等の地元の団体、それからスポ少等の健全育成等、大きく分けて4つが減免です。その他教育長が認めた場合というのを作っておりますが、ほとんど

無料ということで、有料になるのは同好会といいますか、バレーやバスケットであったり剣道もありますが、スポ少等の青少年が主体であればそういった同好会も健全育成という面で無料にしておりますが、コミセンとは若干違うところもあるとは思いますが、ほぼ似ていると思います。

(下手委員) わかりました。ありがとうございます。

(成相委員長) 「異例なもの」というのがあります。これはどういうものですか。

(赤木次長) これは、例として学校で泊まる場合です。定例というのは学校の使用時間を夜の10時までと定めておりますので、それを越えるものです。基本的には泊まりは認めておりません。健全育成というか、目的がしっかりとしている場合には、なかなか校長では判断できにくいということで、教育長が異例なものとして判断することにしていきます。

(成相委員長) 他にありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第30号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第30号については承認します。

(成相委員長) 次に、「議第31号 出雲市立小・中学校等の教職員の服務規則の一部を改正する規則」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第31号について、何か質疑等はありませんか。

(本田委員) 3年を越えない、とおっしゃいましたが、教員として何十年勤務する間で、トータルで3年ということですか。それとも1回が3年ということでしょうか。

(安井課長) 基本的に1回です。延長も1回だけできるということになっています。

(本田委員) 3年ずつ、例えば2回とか、取ることは可能でしょうか。

(安井課長) それも可能だと思います。通算3年を超えることができない。

(本田委員) 1回につき3年で。

(安井課長) なおかつ通算3年です。

(本田委員) では3年と3年はだめですね。

(安井課長) もう3年を越えたら、次は失職になります。

(本田委員) これは県外へ勤める場合でもいいですか。

(安井課長) いえ、外国でないとだめです。外国に限った休業制度です。

(本田委員) わかりました。

(成相委員長) 外国へ行かれる職員は、かなりおられるんですか。

(安井課長) 職員自体ではなくて、配偶者が外国勤務ですので、例えばうちの小学校の先生の夫が商社などで3年向こうにいないといけないという時には、休みを取っていても籍が残るということになります。

(本田委員) 外国の日本人学校に、島根県からも何人も行かれる、そういったところと同行するという時にも使えますね。

(安井課長) そうです。例えば外国で就学される場合、今は日本人学校だと勤務になるかもしれませんが、就学とか勤務の場合で外国へ長く、半年以上滞在されるときにはいっしょに配偶者が行くことができるという制度です。

(成相委員長) 他にありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第31号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第31号については承認します。

(成相委員長) 次に、「議第32号 出雲市学校給食センター第二次再編整備検討委員会設置要綱」を、学校給食課 木代課長 に説明願います。

(木代課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第32号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第32号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第32号については承認します。

(成相委員長) 次に、「議第33号 出雲市文化財保護審議会委員の任命について」を、文化財課 佐藤課長 に説明願います。

(佐藤課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第33号について、何か質疑等はありませんか。

(下手委員) この審議会は、定期的にかかれるものですか。それとも何か議案があった時に開かれるものですか。

(佐藤課長) 年に2回、定例で開いております。また新たな指定物件とか、そういった調査もしながら、物件の指定についての審議をしていただく、あるいは文化財の保護行政全般についてご審議をいただいております。

(下手委員) 大変立派な委員の方ばかりで、市民でもお話が聞けるような機会があればいいと思いました。

(佐藤課長) 弥生の森博物館では、文化財保護審議会の委員さんの講座を毎年やっております。年3回ぐらいはそれぞれの先生方に講義をいただくようなことを取り組んでおりますので、ぜひまた機会があればご参加いただければと思います。

(成相委員長) 他にありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第33号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第33号については承認します。

4. 報告

(成相委員長) それでは報告事項に入ります。報告(1)「平成27年度全国学力・学習状況調査に係る結果について」を、学校教育課 安井課長 に説明願います。

(安井課長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(本田委員) 学習状況調査に関連してですが、出雲市内では同じ中学校校区の小学校と中学校が、その校区を挙げて、子どもたちの生活習慣を良くしようという取組をなされているところがあります。やはりそういったところは、ほかの小学校と中学校がいっしょになって取り組んでいない校区に比べて、この学習状況調査の結果がいいでしょうか、あまり変わらないでしょうか。

(安井課長) まだそこまでは、調査の裏付けが進んでおりませんが、そうあってほしいと願っております。

(本田委員) やはり自分のところだけとするよりも、隣の学校と一緒に、それから小学校も中学校も、また広い出雲市全体、そういったところで何か流れができると、子どもたちの意識にも、また家庭にも届きやすいかなと思います。

(下手委員) この家庭学習時間調査の中には、塾などの時間が含まれるかどうかと、塾に通っている人の割合みたいなものなども、調査をしておられますか。

(安井課長) 家庭学習時間には、塾の時間も入っています。割合については、小学校では59.8%が通っていない、中学校では54.4%が通っていないという、そういう調査もしてあります。

(下手委員) 学校によってその割合がかなり上下するとか、そういうことはありますか。

(安井課長) 学校別までは、まだやっておりません。市全体として、だいたいそれぐらいの割合です。

(本田委員) 今、下手委員さんがおっしゃっていたことと関連してですが、この調査の時間数には塾とか家庭教師に教わる時間も含めてあると思いますが、何かの報道で全国に比べて島根県は、そういったところに行っている子どもは少ないらしくて、そういったことを考えると、ウィークエンドスクールの見直しの話もありますが、そういう機会でもっと子どもたちの学力に直接支えられるようになればと思います。

(成相委員長) こうやって調査結果が出てきて、出雲市の教育委員会としてどこら辺りを目指していくか、どこら辺りであればいいのか。出雲の子どもたちの学力調査のレベルというのはどこら辺のところまでもっていったらいいのか。順位とかいう問題ではなくて、学力というのは学校の先生方も私たちも一緒になって、家庭でも家庭学習をして、どこら辺であればいいのかというのはなかなか難しいとは思いますが、5年後、10年後を思って向かっていかなければ、毎年結果を見て何らかの手を打っていくとか、子どもたちが勉強しやすい環境づくりをしていったらこういうようになってきたとか、そういうものが必要だと思います。

(安井課長) 将来の見通しの中では、順位がすべてではありませんが、掲げている中の一つには例えば県内トップ3という目標を謳っているものもありますし、今は少なくとも国の平均以上、それがどれだけ上だったらいいかというところまではありませんが、数字的にはそういったところですが。ただ別の視点で、子どもたちが一旦は出て出雲に帰って、ここで仕事をして社会貢献をしてほしいと、それが十分にできる子どもたちというのが理想として思っているところでして、それを量るのは10年後の就業の状況であったり、人口の減少度合いとか、ということになるのではないかと感じております。

(槇野教育長) 最終的というのは、今話がありましたように、広い意味での学力、総合力というか生きる力というか、それをしっかりつけるというのが目標です。それでこの学力調査のことに言いますと、学力を測る上での一つのものさしといいますか、全国の上位の都道府県であったり市であったり、そういうところと伍するようなどころまでもっていくべきであるという思いはあります。ただそのことだけを目指すのではなくて、総合力のアップを目指す中で、この学力調査に関しても、そういう結果が付いてくるといいなという思いでやっているところです。

(成相委員長) 去年もずっと学力向上のことで一生懸命考えてきて、そういったことが後々つながってきて、出雲の子どもたちの総合的な学力向上につながっていけば一番いいわけですので、ぜひそのような方向に向かっていってほしいと思います。

(成相委員長) これについてはよろしいですか。

(各教育委員) なし。

5. その他

(成相委員長) 次に、「その他」に入ります。 教育委員会の後援・共催事業について、教育部 赤木次長 に説明をお願いします。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) なし。

6. 次期教育委員会の開催時期

(成相委員長) 他にないようですので、次期教育委員会の日程ですが、10月27日(火)の、午後2時から市民応接室で開催いたします。

7. 閉会

(成相委員長) 以上をもちまして、教育委員会9月定例会を閉会します。

(14:57) 定例教育委員会閉会